

# Smart Life

発行：エネルギー教育モデル校運営委員会 創刊号 2017/9/26

## ～本校が「エネルギー教育モデル校」に選ばれました～

終始業式校長先生からもお知らせがあったように西宮東高等学校が経済産業省資源エネルギー庁主催の「エネルギー教育モデル校」に認定されました。認定期間は今年度を含めて3年間。全国の小中高校のうち、毎年30校が選ばれるものです。

「そもそもエネルギー教育とは何なんだ？」確かにおっしゃる通りです。「選ばれると何か得をするのか？」残念ながら皆さんの小遣いは増えません。「だったらいいや。」いえいえ。見捨てずにぜひお付き合いください。

皆さんがエネルギーや環境のことについて、少しでも興味を持っていただけるように、不定期で「Smart Life」を創刊します。また、様々な講演会や授業等も企画します。お楽しみに。

## ～2050年の天気は～エネルギー・環境を考える①

「エネルギー教育モデル校」の3年間のテーマは

**「持続可能な社会の実現を目指して ～西宮東高校から世界に貢献できる人材を～」**

皆さんには、科学的根拠のある情報をもとに、これからの社会に向けてどのようにすればいいのか「能動的に」「自発的に」考えて、「自らの考えを表現して」「行動できる」高校生になってほしいと願っています。

**「そもそも持続可能な社会って何？」**

ネット検索をしてみると『地球環境や自然環境が適切に保全され、将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現代の世代の欲求を満たすような開発が行われている社会』のことです。

「そんなこと言いますが、電気は24時間滞ることなくコンセントからとれるし、水道ひねれば水道水が出てきます。日本には森や木も多いし自然環境を破壊しているとも思えません。そんなこと考える必要はないのでは？」本当にそうでしょうか？

突然ですが、「2050年の天気予報」というのご存知でしょうか。世界各国がこのままのペースでCO<sub>2</sub>を出し続けたとします。そうすると2050年の日本はどんな天気になるのでしょうか。

「真夏日日数は連続50日」

「熱帯夜は連続 60 日」

「9 月 23 日でも東京は最高 35 度」

「京都の紅葉の見ごろはクリスマスごろ」

「沖縄のサンゴは白化」

「スーパー台風が発生。中心気圧は 890hPa、最大風速は 70m。台風による高潮は 5m から 10m にもなる」

こんな天気になるそうです。もちろん海面上昇なども考えられます…。これは「持続可能な社会の実現」とはいえないでしょう。CO<sub>2</sub>排出削減は世界共通の課題でもあるといえそうです。そのためには何をすればいいのでしょうか。私達にできることは何なのでしょう…。「2050年の天気予報」は you tube でも見られます。ぜひ一度ごらんください。

## ～大飯発電所・原子力研修センター見学会を実施します～

さっそくですが、終始業式でもお伝えしたように、12月9日(土)に、大飯発電所と原子力研修センターの見学会を実施します。

現代社会や地理、物理を学習した人は、「原子力発電がどのような仕組みで発電しているのか」や、「原子力発電所はどのような場所に立地しているのか」「日本でつくられている電力のうち、火力、水力、原子力、太陽光や風力などの割合はどうか」などを学習しています。今回はそれらを踏まえたうえで、原子力発電所を実際にみることにより、それらの学習内容を深めることができます。そして原子力研修センターでは、原子力発電所ではたらくための訓練施設ですので、実際の原子力発電所の構造等を模型で見ることができます。これらを通じて、実際の発電の仕組みやその安全対策等を知り、考えを深めてもらうことを目的としています。

別紙の生徒・保護者向けの案内や、見学に関するお願い等のプリントをよく読んで、希望する生徒は署名捺印の上、申し込んでください。裏面に大飯発電所の見学内容と、日程案を書いています。

## ～今後の予定について～

これからの、エネルギーや環境教育の講演会や授業等の予定です。

11 月 15 日(水) 1 年数理科学コース講演会 「キセカエハウス」で考える省エネ

可動式の断熱道具や間仕切り、ルーパー等により、家そのものを夏冬、昼夜に応じて変化させる、住まいの「キセカエ」による省エネを実践されている宇野先生からお話を伺います。

講師: 武庫川女子大学 宇野朋子先生

12 月 18 日(月) 1・2 年生対象講演会 「日本のエネルギー環境問題」

そもそもエネルギー環境問題って何なの? どんな問題があるのかをわかりやすく教えていただきます。

講師: エコット政策研究センター 代表 中岡 章 先生